

タウンミーティングでの意見一覧（2026年5月30日（土）、南地区）

NO.	ご意見等	回答担当課	回答
1	高齢者住宅の問題の発言がありました。幼稚園等の空舎を高齢者のシェアハウスにしていただけだと思います。南小中学校楽しみにしています。高齢者ですので終活支援よろしくをお願いします。	幼保こども園課	本市の幼稚園は園児数の減少により令和7年度に幼稚園再編に係る基本方針を策定したところです。園舎については築50年近いものもあり、今後安心してご利用いただくためには改修等も必要であることや、跡地利用については地域の方のご意見等もいただきながら検討して行く予定です。
2	無理な要望すいません。何とかしたいです。 決まった方が大半で家庭に閉じこもっておられる方をどう見つけるのか、どう表に出ていただくための方法があるのか思案中です。また、色々な催しを開きたいのですが、それに付ずいして怪我のリスクもあり保険にも入っていますが、もやる場合の間に入って頂ける弁護士等を専属で派遣してくれるシステムがあれば助かるのでは。昔の遊びは危険も伴い、それで学習して大人になっているが、今の親は怪我させた事について昔の方とは考えが違いすぎて対応できないからあきらめざるを得ない。	地域共生社会推進課	支援を必要とされている、ひきこもり状態にある方に気が付く機会は様々です。当事者のご家族の支援者、地域の方々、当事者のご家族、当事者からのご相談が考えられます。地域全体で、ひきこもり状態にある方の理解を深めるため、市内の自治会にポスターを掲示したり、市民向けの講座を開催しています。 ひきこもり状態にある方のご家族、ご本人からの相談は「生駒市子ども・若者総合相談窓口（ユースネットいこま）」が窓口となります。
3	萩の台住宅地から要望 街の先の事を考え悩んでいます。主題からずれてすいません。 ・東山、秋津、萩の台から大瀬中学へのスクールバスの運行。保育所のバスを新規購入時に大人も乗れるシートへ改造して、時間を分けて使用し、コストをおさえる。 ・そのバスを昼間の東山→大瀬までのバスに使用する。	防犯交通対策課	萩の台住宅地では、南生駒駅周辺の買物拠点や萩の台駅までの移動手段としてコミュニティバスたけまる号を週3日運行しており、萩の台駅までの移動手段としては、地域主体のグリーンスローモビリティを週2日運行しています。日常生活の移動手段はすでにある程度確保できていると考えていますので、ぜひそういった既存の公共交通の利用をご検討いただければ幸いです。
4	駅前（萩の台）から乙田橋までの道路が狭く、歩道を整備してほしい。セニアカーの通行がこわい。	事業計画課	既存の道路で新たに歩道整備を行うには一般的に用地の取得が必要となり、ご要望の場所におきましても例外ではない他、鉄道より東側の動線でありましたら家屋が立ち並ぶ状況となっている箇所もありますので、実現にはそうした家屋の移転等も伴うため費用面や沿道の方々との合意形成の観点から実現は困難であると考えています。しかしながら、歩行者の安全確保は必要であると認識しており、生駒市では生活道路の安全対策に寄与する可能な対策を関係機関と連携しつつ進めているところですので、ご理解の程お願い申し上げます。
5	萩の台の墓地の焼却場の使用時、苦情出ているようでごみの回収をしてあげてください。	環境保全課	当該墓地の管理関係者に状況を確認し、現在、適切な管理方法について協議を進めております。 墓地内で発生する草木や供花等の処理方法について見直しをお願いしており、今後はごみ袋を使用した排出など、適切な方法による処理へ移行していただく方向で調整を行っております。

6	新規入居者の方と旧の住人とのトラブルもあり高齢者は柔軟に対応できず困っています。市の相談窓口での対応よろしくお願いします。	防犯交通対策課	住民同士のトラブルなど、民民間の問題について法律的な判断が必要となる場合には、本市が実施している 法律相談（要予約・無料）をご利用いただくことで、弁護士による専門的な助言を受けていただくことが可能です。ご活用くださいますようお願いいたします。 ※参考：法律相談ホームページ https://www.city.ikoma.lg.jp/0000001591.html
7	民生委員のなり手が少なく無理にたのんだのですが、ほんとうにボランティアで活動費も少なく自治体によってはかなりの補助もありボランティアと言えどもやりがいがあると思います。生駒市もう少し上げてあげてください。実質4～5枚らしいです。私もわからずたのんでしまい反省しています。	地域共生社会推進課	国の予算において、民生委員活動費が増額されたことを受け、奈良県に対して増額分予算計上するよう要望しています。また、民生委員の負担軽減及びなり手不足解消に向けて、協力員制度の運用やデジタル化の検討などの取組を進めています。
8	生きいきクーポン個人給付3割減なくさないでください。	地域共生社会推進課	社会保障経費の増大により厳しさを増す財政状況の中で、将来にわたって制度を継続するための見直しとなりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。また、見直しによる財源を「健康予防・介護予防」など高齢者福祉の向上に活用する予定です。
9	意見交換の時間が少なく深まらなかったように思います。時間を十分とり十分なやりとりのできる意見交換を望みます。テーマ別のこのような意見交換が大事と考えます。今後も企画よろしくお願いします。（今後も）地域や市民の声をきいて下さい。	広報広聴課	ご参加いただいた皆さまからの意見を聞く時間が短くなり、申し訳ありませんでした。時間配分は検討していきます。
10	北地区（特に住宅街）の高齢化に伴う計画はどうなってるのかと思った。 ex:私（あすか野）地区への道路整備、車イス、自動自転車の走行の危険	事業計画課	現在、あすか野北及びあすか野南において大規模な道路整備の事業は計画がない状況となります。しかしながら、あすか野地内においても通学路の安全対策として一部の交差点で車両が歩道に侵入することを防止するための防護柵を設置するなど、交通安全に寄与する取り組みを行っているところであります。ご理解の程お願い申し上げます。
11	総合公園スポーツ施設リニューアル全く不要です。国体なんかやめればよいです。現役世代や子育て世代に施設作る予算まわしてください。立派な図書館も不要です。利用するのは一部の市民だけです。私は4年図書館を使っていません。救急は今年お世話になりました。素速く対応で助かりました。	スポーツ振興課	総合公園体育施設のリニューアルにつきましては、国スポ・全パラスポのために整備するものではなく、老朽化が進んでいる体育館の更新、また、学校水泳授業の集約化など、市民の皆様が将来にわたって安全に利用できるスポーツ環境を確保することを目的としています。さらに、この事業は、市民の安全安心を担う施設として、災害時の避難機能や防災拠点機能の強化を図る目的も併せ持っています。 市では、子育て支援や教育施策も重要な課題として重点的に取り組んでいます。今後も、市民生活に必要な施策について進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

12	本日質問をさせて頂きました。昨年いこま考座ほぼ全て参加させて頂きました。他に公共施設について考えるの3回の講座。他。今年になってからも市議会議員さんとの懇談会他参加させて頂いています。 そんな中で生駒を” 自然が豊かで若者が元気な街” にして行きたいと考えています。 生駒は都会に近いにもかかわらず多くの自然が残っています。私が知る限りでも自然に引かれて生駒に越してきたと言う人が何人もいます。年初の市議会議員との懇談会でも南地区では義務教育学校と共に壱分の開発の話が多く出でいました。何人かの方は止めさせたいが自分が言ったところで止まらないから諦めたと話されていました。壱分の開発については残念ながらここまで来てしまえば止まらないと思われます。そんな中高山の再開発に疑問を持っている方から高山で自然観察があると聞き参加して来ました。私の個人的な感想ですが自然に中途半端に手が入っており本来の自然の姿ではないと思います。聞く所によると絶滅危惧種等もいるとか… 本日市長は法的に問題がなければ地権者がやる事を止める事は出来ないと話されていました。一方市から助言？は可能との話もありましたら。市長は環境省にいらしたと聞いています。（本日も少しこの話をされていたと思います）市長個人的に高山の開発をどの様に考えられているのでしょうか？もし開発すべきではないとお考えでしたら生駒の大切な自然を守る為に市民の力を結集して地権者に訴えて行きませんか？私は高山の再開発について50%以上の方々がご存知ないと思っています。知っていても声を上げて止まらなと諦めているが多数いると思っています。署名運動も始まっている様です。今ならまだ止められます。一度自然を壊してしまうと元に戻す事は事実上不可能です。市民や近隣地域の方々に広く知って頂き多くの方々の思いを聞いて頂けないでしょうか？	学研推進課	学研高山地区は、関西文化学術研究都市建設促進法に基づき実施される国家プロジェクトとして、文化、学術及び研究の中心となるべき都市を建設し、我が国及び世界の文化等の発展並びに国民経済の発達に資することを目的とする地区のひとつに位置づけられています。 また、奈良県が定めた建設計画や将来のまちづくりの方向性を示す生駒市都市計画マスタープランにおいても、産業・学術研究拠点として位置付け、産業振興と雇用の創出につながる産業機能や高度な学術・研究・業務機能の集積、持続的な技術革新を牽引する居住実験都市の実現、イノベーション中枢機能の構築など、次世代を見据えた拠点形成を図る地区と位置付けております。住宅都市として発展してきた本市の今後の持続性を考慮すると、学術研究・産業機能の充実など、都市活力を創造していくことが必要となります。 ただし、単なる開発ではなく、学研高山地区第2工区全体土地利用計画にも位置付けているとおり、南エリアは「都市的土地利用ゾーン」、北エリアを「自然的土地利用ゾーン」とするなど、「都市と自然が共生」する都市の形成を目指していく計画としております。 なお、高山第2工区の事業については、広報やホームページに随時情報を掲載したり、都市計画変更手続きにあたっては地元説明会を開催したりするなど、広く周知を行ってきたところです。今後も事業の進捗に合わせ、引き続き周知に努めていきます。
13	もう一つ初めに発言させて頂いた、情報をどの様にして市民の方々に広報するかです。市のホームページにいろいろな情報が載っています。ただし活用出来る形になっていません。 今の状態はせっかく有意義な資料があるのに使う事が出来ない死んだ情報になっていると思います。 市役所と市民の有志で取り組みませんか？ 私自身年齢の関係で今の職場に居られるのは来年3月までです。第二の人生として多くの方々に喜んでもらえる何かをやる事を生きがいにしたいと考えています。 生きがいが得られるのであれば無給でも構いません。 会社との相談になりますが私がお役に立てるのであれば早期に退職も考えます。 私にどれだけの事が出来るか分かりませんがやる気満々です。とにかく生駒をもっともと魅力ある街にしたい！これから私の夢です。よろしくお願いします！	広報広聴課	市民の皆さまへの情報発信について、デジタルを活用した情報発信については、市ホームページをはじめ、SNSの活用（LINE、X、Facebook、Instagram、note）があります。また、紙媒体としては、広報いこま「いこまち」の他、県民だより、フリーペーパー「ぱーぐる」への掲載、奈良テレビ「いきいきまちだより」での放映、奈良登美ヶ丘イオンのデジタルサイネージへの掲載など、多種多様なメディアを活用しています。 こうした多様な情報発信チャンネルの特性に合わせ、発信する情報の取捨選択をしていくことで、有意義な情報発信としていきたいと考えています。
14	生駒市在住の生後8ヶ月子育て世帯パパです。たっち一時預かりをよく利用しております。現在、利用可能な日程が平日のみですが、土曜もしくは日曜、祝日も対応してもらえるとありがたいです。私自身、平日は働きに出ているため、子どもを預けて夫婦二人で家具や家電製品などの大きな買い物の下見、休日にしか実施していない催事（子連れでは行きにくい）に行く際、利用ができればと考えてます。	こども政策課	たっちの短時間預かりをご利用いただきありがとうございます。土曜・日曜・祝日にお子さんの預かりをご希望の場合は、たっちの短時間預かりではなく、援助会員のご自宅での預かりサポートをご案内しています。ご希望の場合は、ファミリー・サポートまでご相談ください。
15	小紫市長の分かりやすい説明を通して、実際に住んでいる生駒市の行政についてより深く知ることができたので参加してよかったです。 一方、その他にご臨席されている市役所の重役（副市長、教育長・各事業部長）の発言やお考えを聞ける時間がなかったのは残念です。せっかくの場ですので、現場統括として実際に運営されている方達の意見を市長から促していただけるとより良かったのかなと思いました。	広報広聴課	各部長が事業のお話をする場として、「いこま考座」があります。詳細日程が決まり次第、お知らせしますので、ぜひご参加ください。

16	生駒南小中学校の最新の設計図に対して、以下のように懸念があります。 子どもたちの発達が保障されるか心配です。 小学校と中学校にはいくつも違いがあります。授業時間の長さ、定期考査、部活動の有無、掃除時間帯の違いなどの活動時間のズレが一つです。配置図では2階に1—4年生、3階に7—9年生の教室があり、校舎中央に吹抜けがあります。子どもたちはお互いに遠慮を強いられると思います。 また、行事の目的が違います。例えば、小学校の運動会は、練習を繰り返して成果を保護者に見せて成長を認めてもらう。対して中学校の体育祭は、生徒が運営をある程度任されて、失敗もしながら学んでいく。 さらに、小学6年生は最高学年として下級生の面倒を見ながらリーダーシップを身につけて行きます。同じ階に常に上の学年がいて、その機会が大きく減ってしまいます。 既存の義務教育学校では、以上の課題を先生方の多大な努力で小さくしています。先生方の力をそういうところに注ぐ必要のないよう、配置の見直しをお願いします。	学校支援課	小学校と中学校の活動時間の違いについては、他の小中一貫校や義務教育学校の学校の時間割などを参考に子どもたちにとってより学びやすい時間割となるよう検討を進めます。学習指導要領では小学校が45分授業、中学校が50分授業を基本としていますが、1コマを40分に設定してる学校もあり、柔軟な発想をもとに設定することが必要であると考えます。 行事についてもそれぞれの行事の特徴や目的を再確認し、子どもたちにとって成長の機会となるよう進めてまいります。 学年及び学級の配置は生駒市内の他校でも年度によって流動的に配置されておりますので、生駒南小中学校においてもそのように運用を進めることになると考えています。 子どもたちにとっても、教職員にとっても学びやすく働きやすい学校を目指します。
17	全体的な市の取り組みが、場当たりの、短期的な視点が感じられませんでした。 もちろん、南小中や図書館など素晴らしい取り組みも沢山あり、生駒市民としてもとても感謝しております。 少子化、人口減、共働きメインの考え方、自然環境保護観点での都市設計方針など、問題提起がなく、ただ新しいことをやりました、というだけでは、将来の生駒市が不安です。未来にどうあるべきか？ 世界標準、日本の未来とあわせて、長期目標が伝わる市政計画が大切です。 自然豊かな都市郊外という素晴らしい生駒市の環境を活かした、先進的な取り組みに期待したい。特に自然保育、自然環境優先の経済デザインです。これからの市政デザインに期待していますし、貢献していきたいと考えております。	企画政策課	今回のタウンミーティングについては、令和8年度予算を中心にお話をさせていただいたことから、その前提となる市が目指す将来都市像（まちのビジョン）についての説明は簡略させていただきました。 本市では、概ね20年を計画期間とするまちづくりの基本方針である総合計画を定め、本計画では目指すべきまちの将来都市像を「自分らしく輝けるステージ・生駒」として掲げています。 また、本計画は、ご指摘いただいている少子化、人口減少、共働き世帯の増加などを踏まえた計画として、市民の「生活」、市民が属する「社会」、市民が暮らす「都市」それぞれで構造上の変化が徐々に進んでいくことを想定し、これらの構造変化に対応していくため、長期的な視野で行政サービスやまちづくりのあり方を徐々に方向転換し、分野横断的に施策を展開していくことが必要と考えており、「住む」「働く」「楽しむ」が融合したまちづくりを進めているところです。 ご意見の本市の自然は多くの市民が市のイメージとして定着しているものであり、これを活かしたまちづくりを市民の皆さまと協働して進めていくことが重要であると考えておりますので、今後とも市政にご理解、ご協力いただければと思っております。
18	高齢者の中には現住のマンション等を退去しなければならないケースもあり、それらの方に高齢者向けのサービス付きマンションの建設も必要で、そのような相談についてもあとで聞きたい。	地域共生社会推進課 生活支援課	・特に、頼れる身寄りのない高齢者については入居を断られるケースも多く、居住場所の確保も含めて包括的に支援していけるような仕組みの検討を進めています。 ・くらしとしごと支援センターでは、引越しの必要に迫られているが、うまく進まず困っている方からの相談に乗り、解決に向けてサポートをしています。